

独立行政法人国際協力機構 関西国際センター 2017年7月12日

大阪の企業、ミャンマーで米粉普及

農民所得向上をめざす

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業~案件化調査~」において株式会社西村機械製作所(大阪府八尾市、西村元樹代表取締役)が提案する「高度な製粉技術による米粉バリューチェーン」(ミャンマー)を採択しました。

農業が盛んなミャンマーにおいて、米は総農地面積の約 2/3 で栽培されている重要な農産品です。一方で、精米等の過程で約 50%が破砕米になり市場価値が失われるため、農民の収入向上の妨げとなっており、破砕米の削減およびその有効活用が課題となっています。現在は、破砕米を石臼ですりつぶして米粉として使われることもあるものの、米粉製粉技術は低いのが現状です。

西村機械製作所の微細米粉用の製粉機械は国内最大シェアを持ち、気流粉砕技術によって低価格・小型の装置で粒度の細かい米粉を作ることができることが特徴です。また、同社は米粉の普及活動を日本国内やミャンマーなどで行ってきました。

今回の調査では、同社の機器を用いて破砕米を米粉に加工し付加価値を向上させることをめざし、現 地の農家や食品加工業者などにニーズ調査などを行います。グルテンフリー等の人気でアジアや欧米で 拡大する米粉市場をつかむため、同社の技術でミャンマーの米が活用されることが期待されています。



製粉機(FPM-150)



現地での米粉のお菓子づくり実演



米粉製品

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業~案件化調査~」(注) として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012 年度から実施されており、今回は全国で36 件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 小西

TEL 078-261-0397 e-mail: Konishi. Yoko. 2@jica. go. jp